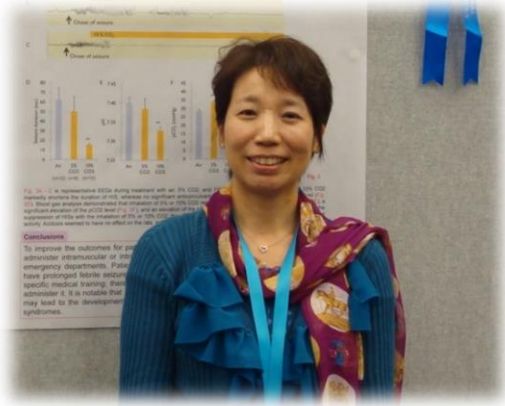


大守 伊織 研究室 (神経生理学・障害児病理学)



教授

博士 (医学)

卒論テーマ

- 病弱児の学習支援
- 性的マイノリティの子どもも過ごしやすい学校づくり
- 学校における医療的ケアの諸問題

研究業績

社会活動

研究テーマ

1. 発達障害の病態解明

発達障害は様々な原因で発症しますが、神経細胞のシナプスの構造や恒常性の維持に関わる分子の異常が注目されています。神経細胞の興奮をつかさどる電位依存性ナトリウムチャンネルやシナプス終末で神経伝達物質の開口放出にかかわる電位依存性カルシウムチャンネルなどに異常をもつモデルラットを用いて、発達障害、学習障害の病態解明をめざしています。



2. 難治性てんかん・急性脳症の発症機序の解明と新規治療法の開発研究

ドラベ症候群やウエスト症候群は、乳児期に発症する難治性てんかんです。乳児期からてんかん発作を繰り返し、多くのお子さんで知的発達、運動発達の遅れを伴います。また、けいれん重積型の急性脳症の発症機序について研究をしています。動物実験においてけいれんに対し、二酸化炭素吸入が有効であることを見だし、新規治療法の開発研究を行っています。

学生へのメッセージ

生命現象に畏敬の念をもって接していると、今まで気づかなかったことに気がつく瞬間があります。すぐに理解できなくても、じっくりおつきあいすると少しだけ教えてくれます。それは研究対象が何であっても同じだと思います。